

2006年林業経済学会秋季大会プログラム(【】内は座長)

2006/10/20更新

11月3日 研究発表題目(10:05~17:40)

開始時刻	A会場(8番教室)	B会場(10番教室)
	自由論題	自由論題
9:30	<A01>	<B01>
10:05	<A02>	<B02>原田一宏(地球環境戦略研究機関):地域住民が主体となった森林認証制度—インドネシアにおけるFSCとLEIの事例【及川洋征】
10:40	<A03>	<B03>永井リサ(九州大院比較社会):中国東北におけるロシア材の輸入状況—中ロ国境の綏芬河・東寧を中心に—【楠澤宏昭】
11:15	<A04>赤池慎吾(東京大院):森林資源管理から見た官地民木の意義【加藤衛拡】	<B04>張 玉福(森林総研・学振外国人特別研究員)ほか:中国とニュージランドの木材貿易に関する計量経済学的研究【行武深】
昼休み		
13:00	<A05>奥山洋一郎(東京大院)ほか:国有林「遊々の森」の全国状況と制度比較【山本信次】	<B05>川村 誠(京都大院)ほか:国産材流通システムの転換—岡山県北における原木市売市場の分析—【遠藤日雄】
13:35	<A06>川崎章恵(九州大院)ほか:雇われ林業労働者の一人親化とその就業実態—福岡県を事例に—【志賀和人】	<B06>嶋瀬拓也(森林総研):木材チップの国内流通にみる輸送距離の動向【小林紀之】
14:10	<A07>石井真樹子(東農工大)ほか:地元住民との関係から見た「ターナー」の山村社会への適応—長野県大鹿村を事例として—【田村早苗】	<B07>堀晴人(森林総研)ほか:秋田県における合板用木材供給—素材生産業の対応—【幡建樹】
14:45	<A08>山下真里(東農工大)ほか:住民の生活における狩猟採取の位置づけ—中国・内モンゴル自治区ホルン沙地を事例として—【齊藤暖生】	<B08>幡 建樹(スペースビジョン研究所):木材の需要および流通の変化と国産材素材価格【嶋瀬拓也】
15:20	休憩	<B09>山本美穂(宇都宮大院)ほか:居住環境にもとづく住宅用建材への消費者意識—栃木県高柳沢町の住民アンケートより—【安村直樹】
15:55	<A10>TIN MIN MAUNG(宇都宮大):参加型農村調査法による森林減少の是正 Redressing Deforestation Through People Participation【谷祐可子】	<B10>蛭木景子(東農工大)ほか:学校施設における地域材利用のあり方に関する研究—地域材導入過程による比較—【安村直樹】
16:30	<A11>NGUYEN VINH QUANG(九州大院)ほか:Forest Tenure Policy and Response of Forest Tenant—A Case Study in Nghe An Province, Vietnam【土屋俊幸】	<B11>住本 健(島根大院)ほか:我が国における木質バイオマス発電について【伊藤幸男】
17:05	<A12>石井寛(なし):ドイツの森林率、土地利用変化に関する新資料【比屋根哲】	<B12>

11月5日 研究発表題目(9:30~17:40)

開始時刻	A会場(8番教室)	B会場(10番教室)
	テーマ別	自由論題
9:30	柿澤宏昭(北大農):市民参加・コモンズ・ガバナンス—森林ガバナンス論に関する研究サーベイ	<B17>
10:05	斎藤和彦(森林総研関西):連携を分析する手法としてのPCM手法の有効性と限界	<B18>
10:40	討論 佐藤宣子(九州大院):不在村地皆伐放棄地における地元住民の関わり方—放棄地ボランティア植樹をめぐって—	<B19>
11:15	藤原敬大(九州大院)ほか:森林オーナー制度におけるオーナーと地域住民の意向—北広島町芸北地域「芸北こもれびの森林オーナー制度」を事例に—	<B20>
昼休み		
13:00	休憩	<B21>田中 亘(森林総研関西/九州大院):三重県における大規模林家の経営展開と労働調達—直営伐採と外部委託化—【三井昭二】
13:35	山崎陽介(東農工大)ほか:「信越トレイル」整備をめぐる合意形成の成立過程とその課題	<B22>岡部保信(宇都宮大院):経営に与る公団・公社造林—群馬県岡部家を事例として—【北尾邦伸】
14:10	三木敬朗(財政治経済研究所)ほか:森林整備公共事業と地域森林ガバナンス—事業発注における力学的諸問題と展望—	<B23>安藤直彦(京都大院):中山間地域の小規模林家の存立条件—岐阜・加子母の事例から—【興格克久】
14:45	大地俊介(東京大院):国有林ガバナンスの主体形成について	<B24>早瀬信史(東農工大)ほか:林業関係第三セクターの現状と「団地法人化」の可能性—徳島県旧木屋平村を事例として—【藤原三夫】
15:20	休憩 若永青史(筑波大)ほか:インドネシアの植林プログラムにおけるローカルガバナンスの重要性	<B25>井戸田祐子(京都大院)ほか:吉野林業の転換点—山守の素材生産行動を中心として—【餅田治之】
15:55	相楽美穂(立命館大):森林資源管理における環境NGOの活動の意義	<B26>有村佳将(島根大院)ほか:高密度路網を用いた森林経営について—高知県大正町(現四万十町)町有林を事例として—【古川泰】
16:30	安村直樹(東京大院):首都圏の大工・工務店における木材の選定基準—地域材への需要—	<B27>井上善美(島根大院)ほか:高性能林業機械活用の可能性—タワヤーダの利用実態と課題—【鹿又秀聡】
17:05	中澤健一(FoE Japan)ほか:国内外の木材グリーン購入の状況と生産地への影響	
	田家邦明(中央大院):森林認証の可能性について	

11月4日 研究発表題目(10:05~11:50)

シンポジウム(13:00~17:00)

開始時刻	A会場(8番教室)	B会場(10番教室)
	自由論題	自由論題
9:30	<A13>	<B13>
10:05	<A14>山本伸幸(森林総研):統計改革下の林野統計の動向【古井戸宏通】	<B14>三浦隆博(岩手大院)ほか:山間地集落の実態とNPO活動の展開—関市大東町管慶集落を例に—【奥田裕規】
10:40	<A15>柴崎茂光(岩手大農)ほか:屋久島におけるレクリエーション価値の算出と評価—1997年と2002年の比較—【赤尾健一】	<B15>菊池陽佑(岩手大院)ほか:集落の森林と集落活動—公社造林地帯・川井村真屋集落を事例に—【駒木貴彰】
11:15	<A16>石崎涼子(森林総研):都道府県林業業に見る財政縮小と森林整備の重点化【泉英二】	<B16>岡田秀二(岩手大農)ほか:集落論・コミュニティ論の再検討【佐藤宣子】
昼休み		
13:00	C会場(弥生講堂) 合同シンポジウム「国立公園と森林管理」	

大会および委員会の日程

11月2日(木):各種会務関係会議(3号館141会議室ほか)

11月3日(金)

9:30~ 受付
10:05~17:40 自由論題(A会場、B会場)
17:30 50周年記念パーティー開場
18:30 同パーティー開会(山上会館)

11月4日(土)

9:30~ 受付
10:05~11:50 自由論題(A会場、B会場)
13:00~17:00 林業経済研究所との合同シンポジウム
「国立公園と森林管理—その成立、理念と実際—」(弥生講堂—一条ホール)
17:15~19:30 合同シンポジウム懇親会(同講堂ロビー)

11月5日(日)

9:00~ 受付
9:30~17:40 テーマ別セッション「森林ガバナンスの構築に向けて」(A会場)
13:00~17:40 自由論題(B会場)